

別表第1 (第5条関係)

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 23 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	伝建群防災計画策定事業費			
担当課係名	文化財課	課	文化財係	作成者 橋本定美
総合計画での位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち		総合計画のページ 99
	基本計画	芸術文化活動の振興と文化財の保護		
	主要施策	角館重要伝統的建造物群保存地区の保存整備		
予算費目	一般	会計	10 款 教育費	5 項 社会教育費 4 目 文化財保護費
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 24 年度		新規/継続の区分	継続
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等	文化財保護法、仙北市角館伝統的建造物群保存地区保存条例			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input checked="" type="checkbox"/> 補助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	保存地区内及び近隣住民と観光客の安全確保。地域文化、観光資源である伝統的建造物等の保護。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	最初の防災計画策定から30年近く経過したことによる実情との不適合や設備の老朽化及び耐用年数超過を解消したい。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	平成23年度は早稲田大学長谷見研究室と委託契約を結び、現状調査及び研究を実施した。平成24年度も同学と契約して補足調査、解析とりまとめの上、報告書作成を作成する。

【事務事業の推移】

		項 目	単 位	23年度実績		
効果	活動指標	防災計画策定委員会開催回数	目標	回	2	
			実績	回	2	
			達成度	%	100.0%	
	成果指標	防災計画策定委員会開催回数	目標	回	2	
			実績	回	2	
			達成度	%	100.0%	
投下コスト	項 目		総事業費	23年度決算額(千円)		
	事業費(人件費を除く)(A)		8,142,364	3,574		
	人 件 費 (B)		—	5,087		
	職 員 数		—	0.60		
	職 員 平 均 人 件 費		—	8,479		
	(A) + (B) 投下コスト		—	8,661		
	財源内訳	国 庫 支 出 金		—	0	
		県 支 出 金		—	0	
		地 方 債		—	0	
		そ の 他		—	0	
		一 般 財 源		8,142,364	8,661	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	4,330,500		
	市民1人当たりのコスト(円)		—	291		

【事務事業の今までの成果】

近年多発する自然災害の状況下、平成23年度に委員会2回と地域懇談会1回開催で、住民も防災意識が高まり、新防災計画に反映させるべく意見や要望を積極的に発言している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	新防災計画を踏まえて今後防災施設の改築更新事業を順次実施することになるが、年々予算も緊縮傾向であり政局の不透明さが懸念される。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	人口減、高齢化が進み地域防災に不安を感じている中で、一般市民にも分かり易い新防災計画の完成に期待を寄せている。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続（実施）	新防災計画の策定は地域住民の生命と財産を守ることはもとより、貴重な文化遺産である伝統的建造物と増加する観光客の防災も担っているため。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

--

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	重要伝統的建造物群保存区域内及び近隣住民や観光客の安全確保、建造物群の保護の面から防災計画の策定は必要であると考えます。市民にもわかり易い防災計画の早期完成にむけ、事業継続と考えます。

